## 多読

## Extended Reading (ER)

多読とは 辞書無しでも 十分に理解できる易しい英語の本を 楽しく、速く読むことです。

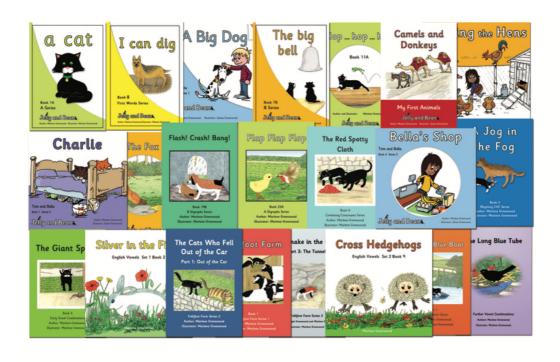


The dragon was very happy. He had fire. He could breathe out flames again. He could cook his sausages for his dinner.

6

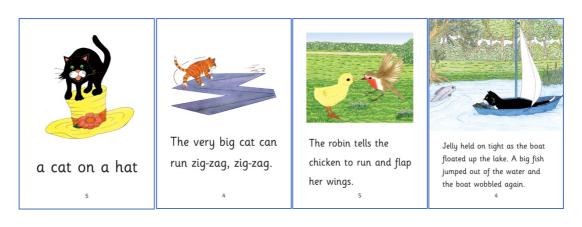
## どうして多読なのか?

- 1. 学習者は多読によって自然な文脈の中で使われる表現に出会い、言葉が現実にどのように使われているか、教科書を越えて知ることができます。
- 2. 多読は語彙を増やします。大量の本を読むことにより数多くの単語や文型に何度も何度も繰り返し出会うため、その使い方が自然に身についてゆき、次にどんな語句や文型が来るのか予測できるようになります。
- **3**. 多読によって、読書の速度が上がり、より流暢に読めるようになります。その結果、[脳内における] 言語の処理がより自動化され、脳に他のことを記憶する余裕が生まれます。
- **4.** 多読によって、自信、やる気、楽しさが増し、読むことが好きになります。それによって、学習者は、言語をさらに効果的に使うことができます。また、学習者の言語学習における不安感を下げるのにも役立ちます。
- 5. 多読では、自分に適切なレベルの英語を大量に読んだり、聞いたりするので、英語の読みや聞き取りのよい習慣が身に付きます。
- 6. 多読によって英語のセンスが磨かれ、文脈の中で文法がどのように働くのか、勘が養われます。教科書や他の学習教材も文法パターンを教えようとしていますが、様々な文脈の中で十分に出現していないので、文法がどのように使われているか深く理解できるまでにいたらないのです。



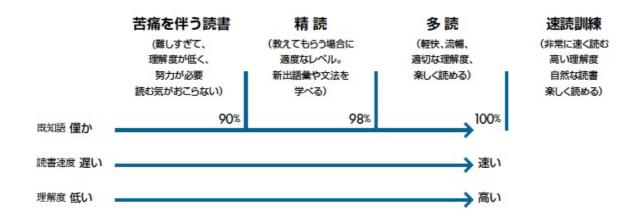
Graded Readers for Children

グレイディッド・リーダー(しばしば、リーダーと略されます)とは、英語学習者が、 読書スピードや流暢さを身につけ、読書「そのもの」を楽しむ機会が持てるように書かれ た本です。(フィクションもノンフィクションもあります)語学レベルに合わせて、少しず つ難易度が上がっていくように書かれているので、「段階別」読み物と呼ばれています。 レベルごとに、物語の複雑さ、文法や語彙、挿絵の量がしっかりコントロールされてい ます。英語母語話者向けの本では、一度か二度しか出てこない語が多いですが、グレイ ディッド・リーダー(GR)では、出現頻度の少ない語彙は使わず、重要な語彙がひんぱ んに出てくるよう、出版社がコントロールして、英語学習を助けています。なお、 Graded Readers を学校の学年(grade)別 教科書と混同しないようにしてください。



ぴったりのレベルでの読書

多読の効果を得るためには、学習者は、読む力そのものの訓練を主な目的として、適度な難易度のものを速い速度で読むことが必要です。 (分速 150 語~200 語以上。初級者の場合は、もう少し低い数字)



過去の研究結果によると、学習者が1ページ中の単語を98%知っていれば、速く、そして高い理解度でその本を読むことができると述べられています。既知語が90%未満(10個に1個は未知語)しかないと、何度も辞書を引く必要が出てきて、読書スピードは遅くなり、読書中にストレスがたまります。その結果内容理解も悪くなります。既知語の割合が90-98%の本は、「教育的レベル」と考えられます。このレベルでは、学習者は、未知語周辺の語句がわかり、内容の大筋を理解できますが、正確に理解したいと思うなら、やはり何度も辞書を引く必要があります。98%以上の語彙がわかる本なら、足を引っ張る未知語が余りないため、速く読むことができ、読書を楽しめるのです。これが、多読の「スイート・スポット」というべきレベルです。もし学習者が、読んでいるページに出てくる語彙を全部または殆ど知っていれば、非常に速く読めるので、リーデイングスピードと自然な読書力向上の訓練として使うことができます。